

暮らし創造研究会 シンポジウム

超高齢社会や高度省エネ社会にむけて、暮らしにおける「健康・快適」、「安全・安心」、「省エネ・CO₂削減」の重要性が増えています。暮らし創造研究会は、住まい手の視点で暮らしにおけるニーズを捉え、これらを充足する暮らし方を創造することを目的として2014年3月に設立され、様々な分野の有識者と連携して活動を進めてきた結果、成果を得ることができました。今回の暮らし創造研究会シンポジウムでは、3年間の成果について、各研究部会の主査より講演形式にて報告を行います。

開催日：2017年3月2日(木) 15:00～17:20

会場：経団連会館(東京都千代田区大手町1-3-2)国際会議場

定員：250名

参加費：無料

主催：暮らし創造研究会

後援：経済産業省、国土交通省、環境省

※後援は予定になります。

プログラム

開会挨拶	15:00	日本ガス体エネルギー普及促進協議会 会長 内田 高史
講演① (40分)	15:05 ～ 15:45	浴室と居室における温熱環境と高齢者への健康影響について(実集合住宅実証等) 東京都健康長寿医療センター研究所 前副所長 高橋 龍太郎 (効果・効能研究部会主査)
講演② (40分)	15:45 ～ 16:25	消費者の省エネ行動を促す効果的な手法の検討について 東京都市大学 名誉教授 坊垣 和明 (暮らしの意識・行動研究部会主査)
講演③ (40分)	16:25 ～ 17:05	地域の核となるコミュニティ拠点の実現に向けて 明治大学理工学部 教授 園田 真理子 (超高齢社会の居住環境研究部会主査)
閉会挨拶	17:05	

※やむを得ず講演内容、講演者等が変更となる場合がございますので、ご了承下さい。

シンポジウムへのお申し込み <https://kurashi-sanka.jp>

シンポジウムのお申し込みは、上記のお申し込みフォームよりお申し込みください。

必要事項をご記入のうえ送付いただき、事務局からの参加受付メールをもってお申し込み完了となります。

お申し込み期限：2017年2月20日(月)

お申し込み期限前であっても定員(250名)に達した場合は締め切りますので、お早めにお申し込みください。

お問い合わせ先：(一社)日本ガス協会 業務部内 暮らし創造研究会事務局 担当：小笠原 TEL：03-3502-0115

<暮らし創造研究会について>

背景、課題認識

- 超高齢社会に適した住環境が必要
- 健康、快適性、安全性などといった Non Energy Benefit の明確化が求められている
- 更なる省エネを推進するためには、機器の高効率化に加え、使用者が無理なく省エネ行動を取ることが必要
- ストック住宅への対策の重要性が増大

暮らし創造研究会を設立

(2014年3月)

暮らし創造研究会の目的

超高齢社会、高度省エネ社会への移行を見据えながら、暮らしにおける健康・快適、安全・安心、省エネ・CO₂削減の観点でニーズを捉え、充足する暮らし方を創造することを目的とします。

1

健康
・
快適

2

安全
・
安心

3

省エネ
・
CO₂削減

暮らし創造研究会の詳細はホームページ (<http://kurashisozo.jp/>) をご覧ください。

会場アクセス

経団連会館

〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-3-2
(1-3-2, Otemachi, Chiyoda-ku, TOKYO)

TEL : (03)6741-0222

FAX : (03)6741-0233

東京メトロ「大手町」駅下車 C2b 出口直結

